

平成29年度 第4回新居浜市地域公共交通活性化協議会議事録

○日 時 平成30年1月19日（金）14:00～15:40

○場 所 新居浜市役所 3階 応接会議室

○出席者 ・協議会委員：寺田政則会長、
渡部光男委員、田所秀志委員、門田正孝委員（代理）、
白石昌史委員（代理）、森本英二委員、田村修也委員
越智千鶴子委員、矢野英司委員、永易大典委員、
砂田篤志委員、山下文明委員、鴻上浩宣委員

13人

（欠席）

星加勝一副会長、稲荷和重委員、窪仁志委員、
三木博喜委員、今村美鈴委員、中川美奈子委員、
谷本昌啓委員 7人

・事務局：宮崎 運輸観光課長（事務局長）
安永 運輸観光課副課長（事務担当）
正岡 運輸観光課副課長（事務担当）
町田 運輸観光課副課長（事務担当）
二宮 運輸企画係長（事務担当・出納員）

・傍聴者：0人

○会議次第

1. 開 会

2. 協議事項

- (1) 新居浜市地域公共交通網形成計画の策定について
- (2) 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業（平成28年10月～平成29年9月分）の事業評価（案）について
- (3) 平成29年度地域公共交通調査事業（計画策定）の事業評価（案）について

3. 閉会

1. 開 会

【宮崎事務局長】

定刻が参りましたので、ただいまから、平成29年度第4回「新居浜市地域公共交通活性化協議会」を開催いたします。

本日の出席状況ですが、愛媛県バス協会の稲荷委員さん、四国旅客鉄道株式会社の窪委員さん、新居浜市連合自治会の星加副会長さん、新居浜市老人クラブ連合会の三木委員さん、新居浜市女性連合協議会の今村委員さん、愛媛県東予地方局総務企画部の中川委員さん、四国運輸局愛媛運輸支局の谷本委員さんからご欠席との連

絡を頂いております。現在、20人中13人のご出席で過半数を超えていますので、協議会規約第8条第2項に基づきまして、会議を進めさせていただきます。

また、本日は代理出席として、瀬戸内運輸株式会社から川田さま、愛媛県東予地方局建設部から青井さまにご出席いただいております。

なお、本日の会議は、協議会規約第8条第4項に基づきまして、公開とさせていただきます。事前に開催日時などを市民にお知らせして傍聴を認め、会議の開催結果についても、議事録などを公表することといたしておりますので、ご承知いただきますようお願いいたします。

また、本日の会議には、新居浜市地域公共交通網形成計画を策定するにあたり、専門的な知識を必要とする部分も多くなります事から、愛媛大学 大学院理工学研究所 生産環境工学専攻 倉内准教授にアドバイザーとしてご出席をいただいております。どうぞよろしくお願いたします。

それでは、これより、会長の議事進行をお願いいたします。

2. 議事

【会長（副市長）】

それでは、会議次第に従いまして、議事を進行させていただきます。

まず、(1)新居浜市地域公共交通網形成計画の策定について事務局から提案願います。

(事務局より提案説明、パシフィックコンサルタンツ(株)より内容説明)

【会長（副市長）】

ありがとうございました。それでは、ただいまの説明につきまして、何かご質問ご意見はございますか。

【倉内准教授】

目標値1-2「デマンド交通の交通結節点への利用者数の割合」が必要かどうか悩ましい。デマンド交通の位置付けを大きく変えようとしているので、現状の数値と比較する意味合いがなくなってくるのではないかと。デマンド交通をバス停や駅といった端末として利用することを踏まえると、倍増の値では目標値が低い印象がある。目標1「都市拠点への公共交通を利用した外出の増加」に対する目標値としては必ずしもいらぬのではないかと。

2点目、目標値2-2「バスサービスを受ける人口割合」は、デマンドタクシーも含めたカバー割合とした方がよいのではないかと。公共交通での移動を支えるという計画であれば、デマンドタクシーも含めて、人口割合8割、9割を目指すという方がよいのではないかと。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

今後、デマンドタクシーのバス端末としての利用を増やしたいという考えのもと設定している。倉内先生のおっしゃる通り、目標値が低いのではという話もあるが、

デマンドタクシーとしての目標を掲げたいと考えている。

バスサービスを受ける人口割合については、現状でもデマンドタクシーを使ってバスを使うことはでき、デマンドタクシーを含めればほぼ市内を網羅できてしまっていると思うため、バスサービスをあげていくということを評価するために設定させていただいている。

【倉内准教授】

目標2-2については承知しました。ただ、説明の仕方によって趣旨が変わってくるので、例えば、現状でもデマンド交通を含めたカバー率が何パーセントあり、その上で路線網の見直しを行うことで位置付けが変わってくるので、カバー率を上げるといような説明を入れた方がわかりやすくなるのではないかと。目標1-2については、正直やってみないとわからない部分が多いと思う。目標値1-1「都市拠点におけるバス総乗降者数」の設定方法で、利用者数を1.2倍としているがかなり難しいと思う。目標値2-1「路線バスの利用者数」の説明で、デマンドタクシーについても見直すことを考慮して、といったことを書き加えることでよいのではないかと。あえて目標値1-2を設ける必要はないのではないかと。

【渡部委員】

目標値1-2「デマンド交通の交通結節点への利用者数」について、ダイレクトに交通結節点につなげるとして、これほど利用者数が上がるのか。かなり難しいのではないかと。むしろ下がるのではないかと感じる。

【田所委員】

結節点が増えるということは、乗換のポイントが増えるということになる。利用者としては、乗り換えせずに直接目的地に行ける方が便利なのでは。

【鴻上委員】

現在のデマンドタクシーはダイレクトで行ける施設が多く徐々に拡大していった経緯がある。前回もご説明したように、財政負担の問題が深刻になってきており、現状の仕組みでは利用者が増加すると市の財政負担も増える。また、デマンドタクシーを利用する方が増加し、バス交通利用者が減少している。さらにバス路線を維持する財政負担も増えている。負のスパイラルに陥っている状況の拡大を食い止めるためにも、今後、持続可能な公共交通を考えたときに、バス交通がメインにあって、それを補完するデマンドタクシーという方向に軸足を変えたいと考えている。それによって、乗り継ぎというご不便をおかけすることもあるが、そのあたりを含めた将来的な交通体系を考え直したいということで、今回の1-2目標値として交通結節点の利用者数を2倍にするという形で設定させていただいている。

【永易委員】

利用者のニーズはドアツードアであり、一度浸透したドアツードアをはぎ取るのは難しいのではないかと。デマンドタクシーはエリア内のドアツードアを認めるというものであると認識しているが、今後どのようにしていくのか。

【鴻上委員】

詳しい結節点等についてはこれから協議していかなければならないが、できれば、地域の主要な結節点をつくって、そこまではデマンドタクシーで行ってバスに乗り換えていただく。そのために、合わせて乗継割引といった制度も導入し、バス交通とデマンド交通を両立できる形にしたいと考えている。

【渡部委員】

前回協議会で交通網の説明があり、現在のデマンドタクシーは便利さを優先して目的地となる施設が増えていったが、今後は少し整理をして削っていかうという話である。ただ、便利ではなくなるのに、利用者数の目標値がなぜ2倍となるのかとは思ふ。利用者数は減っていくのではないか。

財政上の問題等も考えられるので、そういったところを鑑みて整理がされるのだと認識している。

【事務局】

今回目標値として入れさせていただいたのは、デマンドタクシーを見直すということで、デマンド交通に関する指標が必要と考え目標値を設定している。目標値を外すという選択肢もあると思うが、見直した後にその効果を確認する手段が必要と考えるため入れている。皆さんがおっしゃられるようになかなか難しい指標ではありますので、再度検討したい。

(パンフィックコンサルタンツ(株)より資料2(2から)説明)

【倉内准教授】

7ページ以降具体の取組施策が示されているが、これは将来像を見据えたうえでの第一段階であると思うので、実施期間をそのような書きぶりにしてほしい。特に①バス路線網再編、②デマンドタクシーの見直し、③運賃制度の検討について、2020年度までの実施期間ではなく、適宜評価確認を行いつつ実施する方がよい。⑤バスナンバーは高齢者にも目立つ、わかりやすい色で実施してほしい。⑧サイクル&バスライドは個人的には不要だと思う。自転車利用が多い松山市でもサイクル&バスライドは利用が少ない。自転車に乗れるような人は5キロ位走るため、ここに投資するよりは他の施策に投資した方がよいのではないか。⑨企業が主体となったエコ通勤の実施は、是非市役所から働きかけていただきたい。名古屋市でも行われているが、民間で自転車や徒歩通勤者に通勤手当を出している例がある。駐車場の確保も企業にとっては負担となっている。また世界的にも自動車への手当をカットしている事例もあり、健康にもつながっていくと思う。⑬公共交通ガイドブックの更新・充実について、ガイドブックの基本はバスマップ、時刻表だと思う。それについてはプロに任せる方法や、大学・学生の意見を聞く方法もあるので力を入れてよいものを作成してほしい。

【事務局】

⑧サイクル&バスライド以外についてはご提案の通りとしたい。⑧サイクル&バスライドについては再度検討したい。

【永易委員】

問題になるのは高齢者だと思う。普段からバスを利用される方はバスを使われると思うが、ずっと自動車を使っていた方が運転をやめたからといってバスに乗るのは難しいと思う。高齢者に対する視点がすごく少ない気がする。自転車や自動車に乗れなくなった方の足をいかに確保するかというのがデマンドタクシーのスタートだったと思う。医療機関に行く方が多い現状の中、その足となっているデマンドタクシーを取り上げるというのは納得がいかない。

【宮崎事務局長】

永易委員のおっしゃられるように、現在のデマンドタクシーのサービスはエリア内の方にとってはよいものであり、医療機関へ行かれる方も約8割程度いらっしゃる。現在、交通結節点へ向けてということで検討を進めているが、先程ご説明した①バス路線網再編、②デマンドタクシーの見直し、③運賃制度の検討はセットで見直す必要がある。今後、バス事業者、タクシー事業者、また高齢者の視点も含め、関係者の方と協議しながら進めていかないといけないと考えている。ただし、デマンドタクシーやバス路線網については何らかの形で手をつけていきたいと考えており、その中の「交通対策部分」として考える施策と「福祉政策部分」として考える施策があるため、この部分については福祉部局と調整をしながら、福祉政策部分で対応すべき部分は対応していただくようなことも含め、本計画案の内容等についても情報提供し一緒に新たな取組等を考えていきたい。サービス水準を上げたのを急に下げることは市民感情的にも難しいが、移動が困難な方に対しては福祉政策の中で検討を進めていきたいと考えている。

【門田委員（代理）川田さま】

取組施策の中でバス停の整備等、多額の費用がかかるものであり現在の経営状況の中で多額の投資をすることは難しく、この事業に必要となる財源についてどこまでお考えなのかお聞きしたい。

【パシフィックコンサルタンツ(株)】

今後、再編実施計画を策定することで事業によっては補助があるものもある。あくまでも協議をさせていただいて、双方で努力して実現していくことが必要である。補助制度が活用できるものについては、積極的に活用していければよいと思う。

【門田委員（代理）川田様】

バスナンバーについては、広島では県単位で実施しているらしいが、愛媛県でも統一して実施した方がよいのだろうか。

【倉内准教授】

松山市内では国体需要やインバウンド需要が増えており、ナンバリングの必要性が高くなり実施している。愛媛県内で統一していくことはできるに越したことはないが、高知でバス路線のナンバリングを検討された先生に聞くと、高知市内だけでも難しいと言われているのでなかなか難しいのではないかと思います。大枠としてのルールはあった方がよいのかもしれないが、各エリアで重ならないように色などを変

えて実施していければよいのではないだろうか。

【会長（副市長）】

その他に何かご質問、ご意見等がございますか。

ご質問、ご意見がないようですので、協議事項(1)新居浜市地域公共交通網形成計画の策定につきましては、先ほど皆様からいただきましたご意見等を踏まえまして、本計画案の作成を行いまして、計画案につきましては、広く市民からのご意見を聴取するため、パブリックコメントを実施する予定であります。今回の協議会においていただきましたご意見等を踏まえた計画案の決定につきましては、事務局に一任いただくということでご了承いただけますか。

(異議なし)

(事務局よりパブリックコメント実施概要説明、パシフィックコンサルタンツ(株)より資料3説明)

【会長（副市長）】

それでは、ただいまの説明につきまして、何かご質問ご意見はございますか。

【倉内准教授】

資料3について、現状・問題点の内容が重複している部分があるため、下の負のスパイラルの図を残して、空いたスペースにアンケートで使用したような、利用者や補助金の推移を入れてもらった方が、公共交通の維持に対する危機感を感じ、意識づけができるのではないかと。デマンドタクシーの一人当たりの補助額などを見るとショッキングな内容だと思う。可能であれば、利用状況、補助金の状況を知ってもらえる内容となるようご検討いただきたい。

【宮崎事務局長】

前向きに検討する。

【会長（副市長）】

他に何かご質問、ご意見等がございますか。ご質問、ご意見がないようですので、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

(異議なし)

【会長（副市長）】

続きまして、協議事項(2)平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価(案)について、事務局から提案願います。

(事務局より提案説明)

【会長（副市長）】

ただいま事務局から提案のありました平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）につきまして、何かご質問、ご意見はございますか。

ご質問、ご意見がないようですので、協議事項(2)の平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の事業評価につきまして、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

（異議なし）

【会長（副市長）】

それでは、協議事項(3)でございます。平成29年度地域公共交通調査事業（計画策定）の事業評価（案）について、事務局から提案願います。

（事務局より提案説明）

【会長（副市長）】

事務局から提案のありました、平成29年度地域公共交通調査事業（計画策定）の事業評価（案）につきまして、何かご質問、ご意見はございますか。

ご質問、ご意見がないようですので、協議事項(3)の平成29年度地域公共交通調査事業の事業評価につきまして、ご承認いただくことでよろしいでしょうか。

（異議なし）

【会長（副市長）】

その他、どのようなことでも構いませんので、各委員の皆様方から、何かご意見や参考になるようなことがございましたら、ご発言をお願いいたします。

【会長（副市長）】

それでは、各委員さんから、ご意見等もないようでございますので、最後に、事務局から連絡事項がありましたらお願いします。

【宮崎事務局長】

本日は、ご審議ありがとうございました。本日ご意見をいただきました、新居浜市地域公共交通網形成計画の策定につきましては、事務局で内容を整理いたしまして、次回協議会においてパブリックコメントを反映させた本計画最終案をご提案させていただきます。

なお、次回の開催日程につきましては、3月を予定しております。会長、副会長さんと調整させていただいて、改めて御案内させていただきますので、よろしく願いいたします。

以上でございます。

3. 閉会

【会長（副市長）】

以上で、予定をいたしておりました事項をすべて終了いたしましたので、本日の会議は散会いたします。皆様ありがとうございました。